

神山神社だより

平成22年10月
4号

■ 例大祭(夏祭り)が終わって

七月十八日には八布施神社の例大祭・高ノ巣八幡神社の例大祭 七月二十四日・二十五日の神山神社の例大祭・八月一日の新田菅原神社の例大祭と、この福岡区内の神社の例大祭を無事、斎行することができました。各地区とも趣向をこらして賑々しく祭りが行われ、区内の小さな子供から年配の老人まで参加でき、それぞれの地区の力を感じる祭りでありました。

この福岡地区の祭りはなぜか暑い時期に集中しております。そのため、今年のよくな異常気象の猛暑の中でお祭りを斉行したのは大変だったろうと思います。できれば、涼しい時期に行えると良いのですが、これも伝統文化に基づく古来からの行事です、そこにはなにか特別な謂れがあるのかもしれない。調べてみると面白いと思います。

私たち氏が神社に対して思うことは、神社とは地域共同体そのものの象徴(地域の人達の社会的つながり、祖先からの歴史的つながり、そのつながりの中で自分たちの報恩の気持ち、お蔭様という気

持ちを表現するところ)で過去↓現在↓

未来へと続く

みんなが残し

てくれた、力をあわせて作った統合の象徴です。

そして祭りに対して思うことは、深い思いを一番強く表現でき、人間として真実の願いと喜びが表現できる行事。地域の人がエネルギーを精一杯出しきるところで、地域の誇り、それを強調するのがお祭り、また、共同体がよみがえる(都度若々しい力がよみがえる)のがお祭ります。

このように、なぜ、神社が存在するのか、なぜ祭りがあるのかを考えると新しい発見が見つかるかもしれません。

これからの行事予定とお願い

■ 七五三祭り

十一月十四日(日)に行います、お子さんたちの無事成長を祝うお祭りです。



■ 秋祭り(甘酒祭り)

一年の豊作を神様に感謝するお祭りです。新嘗祭、感謝祭、新穀祭とも言います。今年は十一月二十三日(勤労感謝の日)午後一時から神事が執り行われ、多くの方に甘酒が振舞われ、餅投げも行われます。ご家族皆

さんでお越しください。



■ 大祓い式

毎年六月と十二月に大祓い式を神社で行っています。特に十二月三十日のお祓いは今年一年の身に起きた不浄の出来事をお祓いする神事です。本来であれば氏子の皆様が神社に立ち寄り大祓いを受けると良いのですが、師走の忙しい時期であるため、出来ないのが現状です。神社では人形「ひとがた」を用いて自身の悪い処を人形に移し神社で氏子全員のお祓いをする方法を取っています。

地区の氏子総代さんが各家庭を回ります。または、常会等でお配りいたしますので、自身の悪い処を人形に移してください。氏子総代さんが回収に伺います。その際、些少で結構ですので神社運営管理のため、お賽銭をご奉納ください。

■ 大麻頒布「たいまはんど」

正月前に各家庭の神棚にお奉りする伊勢神宮の「天照大御神」のお札、神山神社のお札を頒布致します。各地区の氏子総代さんにより配布をしていただきますのでお受けください。

★ 御札納め所

神山神社には境内にお札納め所が設けてあります。これは各家庭でお奉りしたお札、御守(神様の依りしろ)に一年の感謝を申し上げ、神社にお帰りのための収納場所です。最近、お札やお守り以外のものが置かれています。人形や、せともの、中には仏壇までと非常識極まりない状態です。神社ではお札、お守りについては、神主が御祓いをして火入れ式を行います、その際にお札、お守り以外は除いて処分しております。心ある方はお札納め所にお札、お守り以外を置かないようお願い致します。

★ 正月三ヶ日

初詣は神山神社にお越しください。元旦0時より神社ではかがり火を焚いてお待ちしております。元旦、二日、三日に交通安全のお守り、厄除けのお守り等を頒布していますのでお立ち寄りください。

